



「未来を変えるには」

2学期の終業式のときに、1, 2, 3年生ともにそれぞれ学年として成長する姿が見られ漢字で表せば進化の「進」になり、3学期は一人ひとりが成長し進化の「化」、よい意味で化ける学期にして欲しいという話をしました。

今年は酉年ということで、新春の新聞広告のメッセージにも「大いなる飛躍の年に」という言葉がよく書かれていました。結果として大きな飛躍に繋がることはあっても、何かをするとき、急にすごく良くしようとするのは難しいと思います。むしろ、焦らずに少しずつ良くしていくという考え方が大切です。

今までと同じ事をしていても同じ未来しかやってきましたが、今やっていることを少し変える、少しずつ良くしていくと違う未来がやってきます。テレビでお馴染みの林先生の「今でしょう」という言葉には、「何かを今から始めましょう」というだけではなく、「未来を変えるには、『今』を変える必要がある」という意味もあるのではないかと考えられます。私自身も中学時代に、勉強をテスト前に少しだけしかやっていなかったため成績が段々悪くなりました。そこで、まずは1週間、次は10日間、さらに2週間と少しずつ延ばしていくうちに結果も変わっていきました。

1年の締めくくりの3学期が始まります。それぞれ学年のスタートで立てた自分の目標に到達する（自分が良く化ける）ためにも、今までのやり方、今やっていることを少し見直したり、少しずつ良くしたりすることで、焦らずじっくりと取り組んでみて下さい。

